取扱説明書 Ver 1.5

High Speed Dome Camera(TVI)

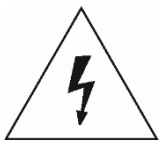
ECAT0116JAN12

注意

感電の危険あり

開けないでください。

注意 ： 感電防止の為、ケースまたはカバーなどを絶対に開けないでください。製品内部にはお客様が修理出来る部品類はありません。お客様自身による修理は危険ですのでお止め下さい。修理は販売店にご依頼下さい。



この表示は、製品の内部に“危険な高電圧”が露出していることを意味し、感電などにより死亡または重傷を負う危険性が高いことを警告するものです。

この表示は、付属の取扱説明書により重要な操作項目や保守に対する警告を意味します。この表示を無視して誤った取扱いをすると、人、物に損傷を負わせる原因となります。

本製品はFCC規則パート15クラスA、デジタル機器の規則基準に従いテストされ準拠しております。操作は次の2つの条件の対象となります。

1. 電波障害を起こさないこと。
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

安全上のご注意

本製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本製品を正しく使用して頂く為に、本書は必ず保存してください。

1. 取付金具 / 付属品

メーカーによって指定された取付金具・アクセサリーを使用してください。

2. 設置

- ラジエータ、ヒートレジスター、ストーブ、アンプ等、熱を発生する装置の近くに設置しないでください。不適切な設置は本製品の損傷のほか、怪我に繋がります。
- 通気孔や開口部を塞がないでください。必ずメーカーの指示に従ってインストールしてください。
- メーカー指定品または付属品以外は使用しないでください。
- この製品はIP67認証の場合に限り屋外使用が可能です。
- 製品の上に物を乗せないでください。
- 金具固定時はステンレス製部品を使用してください。
- 屋外設置の際は、水漏れによる損傷を防止するため、穴の周りにシール剤を使用してください。
- 本製品の設置は専門家にご依頼ください。資格を持った専門の技術者が、現地の全ての規則に準じて本製品を設置してください。
- メーカーによって指定された交換部品のみを使用してください。

3. 電源

本製品のマークラベル上に示された電源仕様のみでご使用ください。ご使用の電源仕様が定かでない場合は、販売店または電力会社にご相談ください。

注意

❑ **操作について**

- 使用前に、電源などが正しく取付られていることを確認してください。
- 動作中に異常や故障が起きた場合は、直ちに使用を中止し、お近くの販売店にお問い合わせください。

❑ **取扱いについて**

- 分解したり、製品内部の部品を改ざんしたりしないでください。
- 製品を落下させたり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
- ドームカバーのお手入れの際は、傷をつけたり、ほこりが残ったりしないよう注意してください。

❑ **設置と保管について**

- 以下のような場所へ設置しないでください。
  - ✓ 許容範囲を超える極端な温度の場所。
  - ✓ 湿気やほこりの多い場所。
  - ✓ 放射線が存在する場所。
  - ✓ 強磁場、電気信号が存在する場所。
- 製品は強い振動の対象となる場所に設置しないでください。

① はじめに

特長 7
パッケージ内容 10
メインパーツ 11

② 設置

DIPスイッチ設定 12
壁面取付金具の設置方法 15
天井取付金具(オプション)の設置方法 16
結線 17

③ 操作方法

取付確認 21
プリセット及びパターン機能確認 21
OSDメニュー 22
特殊機能のプリセット 22
プリセット 23
スイング 23
パターン 24
グループ 25
その他の機能 25
メイン画面のOSD構成 27

④ メニュー

メニュー使用方法 28
メインメニュー 28
ディスプレー設定 29
プライバシーマスク設定 30
時刻設定 32
カメラ設定 33
モーション設定 36
プリセットセットアップ 38
スイング設定 40

パターン設定 41
グループ設定 42
スケジュール設定 44
パスワード設定 45
初期化 46

⑤ 仕様 48
仕様 51
寸法

特長

❑ カメラ・オプション機能

- イメージセンサー：1/3インチ パナソニックCMOSイメージセンサー
- ズーム：光学10倍，デジタル10倍
- デイナイト
- プライバシーマスク
- BLC，WDR，HLC
- NR (ノイズリダクション)機能
- デフォグ機能
- イメージスタビライザー
- 様々なフォーカスモード：オートフォーカス,マニュアルフォーカス,セミオートフォーカス
- 様々なオプション設定とOSDメニュー

❑ HD-TVIとコンポジットビデオ出力

- 同軸ケーブル上で1080pの解像度HD-TVIビデオ伝送。
- 同時HDビデオとアナログ（コンポジット）ビデオ出力。

❑ PTZ機能

- 最大360°/秒の高速PTZ
- ベクトルドライブ技術により、パン/チルトの動きは、最短経路に沿って達成されます。その結果、ビューを対象とする時間が格段に短く、モニター上のビデオ監視において非常に自然です。
- マイクロステッピング制御技術により、ビデオカメラを0.05/秒で制御することができるので、コントローラー上のジョグ動作時に高いズーム倍率で非常に自然に見えます。それゆえ、高いズーム倍率で所望のターゲットビューにカメラの焦点を作ることは非常に簡単です。さらに、ズーム比例パン/チルトの動きとの所望の位置にカメラの焦点を作ることは容易です。

❑ RTC（リアルタイムクロック）機能

- 日付と時刻は、スケジュール機能用に設定することが出来ます。
- 電源がオフになっていても、日付と時刻の設定は、バックアップバッテリーの機能を使用し、しばらく維持されます。

❑プリセット、パターン、スイング、グループ、スケジュール、プライバシーマスク他

- プリセットは最大209ヶ所プログラム可能であり、各プリセットは、他のプリセットから独立し、独自のパラメータ値を持つことができます。以下の表を参照してください。

プリセットNo.	ホワイトバランス	自動露出	•••	レベル	備考
Preset 1	Case A	Case 3		“ENTRANCE”	
Preset 2	Ca秒	Case 5		“WAREHOUSE”	
•••					
Preset 95	–	–	–	–	Reserved for OSD Menu
•••					
Preset 255	Case K	Case 9		“TERRACE”	

- スイングは最大10パターンプログラム可能です。この機能は、カメラがプログラムされた速度で2つのプリセット位置の間を繰り返し移動することです。
- パターンは最大8パターンプログラム可能です。この機能は、カメラは、コントローラーのジョイスティックによりパス（主にカーブパス）を記憶し、できるだけ密接にジョイスティックが運営する軌道を復活させていることです。
- グループは最大8パターンプログラム可能です。この機能は、カメラが順次プリセット、パターンおよび/またはスイングの組み合わせを記憶し、繰り返しプリセット、パターンおよび/またはスイングを実行することです。当グループは、プリセット/パターン/スイングのいずれかと40の機能件まで組み合わせることができます。
- プライバシーマスクは8ヶ所設定可能です。
- スケジュールは8パターンプログラム可能です。この機能は、カメラがそのような割り当てられた時にはプリセット、パターン、スイングまたはグループとしての機能を実行することです。またこの機能は、事前定義されたスケジュールによって定期的に実行することができます。

❑ PTZ(パン/チルト/ズーム) コントロール

- RS-485通信接続により、最大255台のカメラを1つのコントローラーに接続することができます。
- Pelco-DまたはPelco-Pプロトコルは、現在のファームウェアのバージョンで制御プロトコルとして選択することができます。
- 同軸ケーブルを介してPTZドームカメラを制御する「Coaxitron機能」を提供します。

❑ OSD(オンスクリーンディスプレー)メニュー

- OSDメニューは、カメラの状態を表示し、機能を設定するために設けられています。パスワードは、OSDメニューで設定することができ、OSDメニューを保護することができます。
- カメラID、パン/チルト角度、日付/時刻、ディレクション、アラーム入力とプリセットが画面に表示されているなどの情報。
- 多言語OSDメニューがサポートされています。

❑ アラーム入出力機能

- センサー入力×3、センサー出力×1
- アラームセンサー入力は、外部の電気的ノイズを避けるため、完全に衝撃をフォトカプラでデカップリングされています。
- N.O.（ノーマルオープン）センサーおよびN.C.（ノーマルクローズ）センサーの両方を使用することができ、センサー入力の信号範囲は、様々な用途のために12.0Vに直流5.0Vとなっています。
- カメラをプリセット位置に移動したり、外部センサーのアクティベーションが存在したりする場合、このようなパターン、スイングやグループなどの機能を実行するように設定することができます。また、「ポストアラーム」機能は、外部センサーの活性化による作用に続いて、ユーザー定義の期間と順次後に活性化することが想定されている、ことが可能です。

❑ プリセット予約(ホットキー)

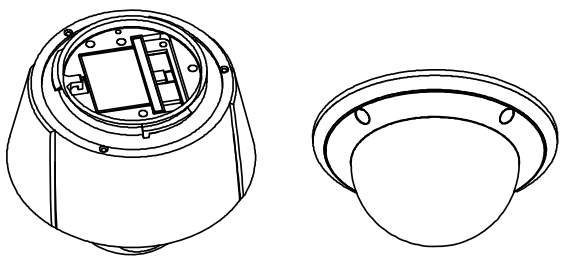
- 多くのカメラの設定オプションは、OSDメニューに入らずに予約プリセット（ホットキー）で簡単に直接設定することができます。詳細については、このマニュアルの「予約プリセット（ホットキー）」を参照してください。

❑ 屋外環境の互換性と簡単設置

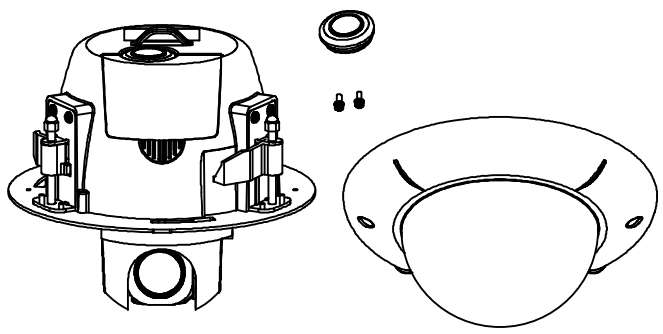
- 低温・高温環境用のカメラは、ファン・ヒーターを内蔵しています。また水や埃からカメラを保護するIP67設計です（壁面マウントブラケット取付時/屋外モデルのみ）。
- 設置・修理が簡単です。

パッケージ内容

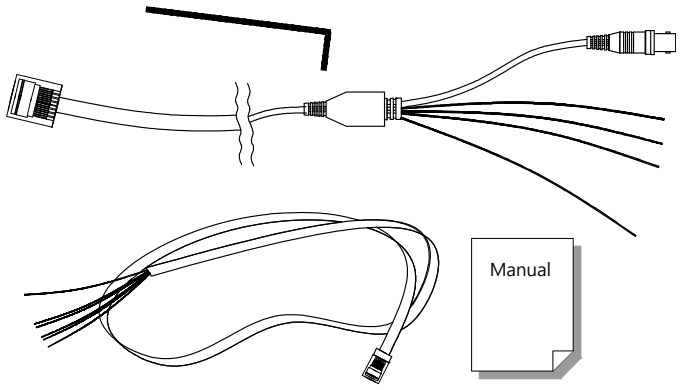
❑ 製品本体と付属品



● 本体＋ドームカバー (壁付・天井付型)



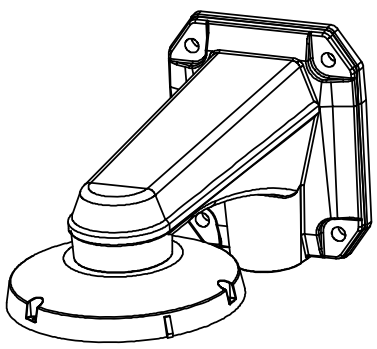
●本体＋ドームカバー(天井埋め込み型)



● 標準付属品

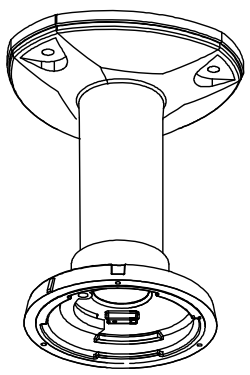
[メインケーブル、I/Oケーブル、レンチ、取扱説明書]

❑ ブラケット



● 壁面取付金具

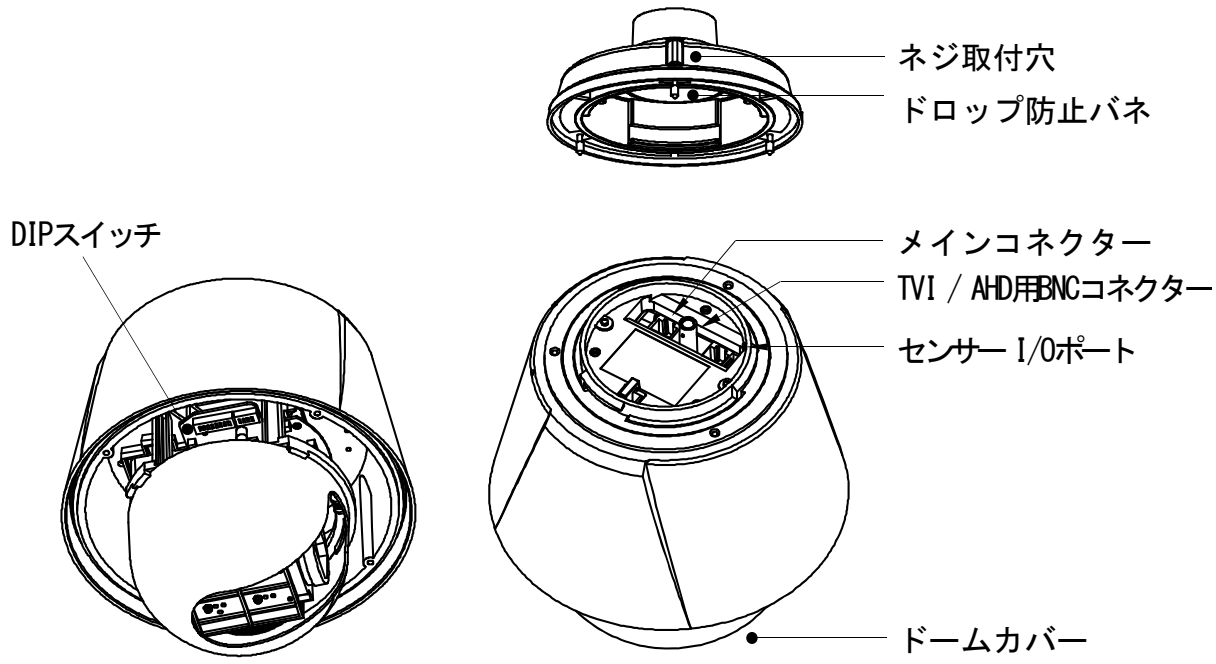
[ネジ : トルクスマシンM4 L18、六角ラグ#14 50]



● 天井取付金具（オプション）

[ネジ : トルクスマシンM4 L18、アンカーボルト3/8" 70]

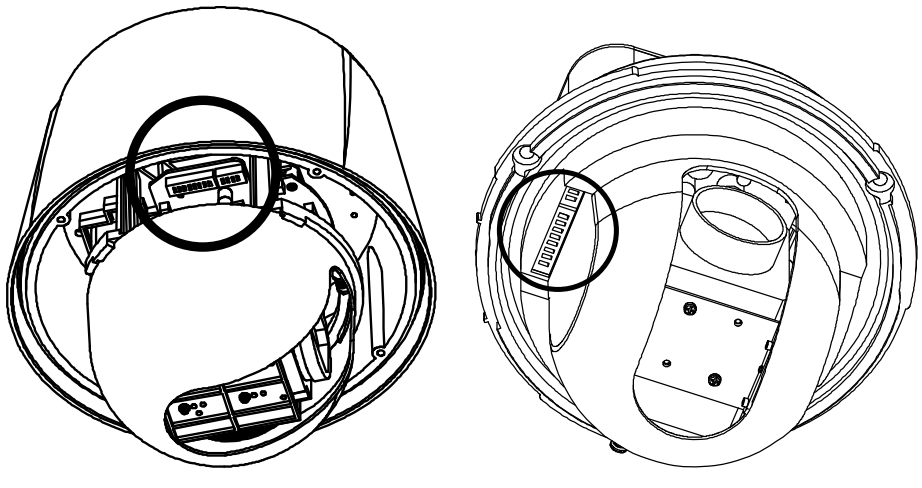
メインパーツ



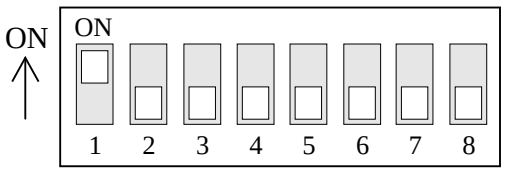
●ドームカバー	キズやホコリからドームカバーを保護するために、すべての設置過程を完了する前にドームカバーの保護ビニールを外さないでください。
● DIPスイッチ	カメラのIDとプロトコルを設定するために使用します。
●ドロップ防止バネ	設置や保守の際にカメラを落下防止するものです。ブラケット設置後、スプリングを本体の落下防止フックに掛けてください。
● ネジ取付穴	ネジでブラケットと本体を組み立てるために使用します。
● メインコネクター	電源線、アナログビデオケーブルおよびRS-485通信ケーブルの接続に使用されます。
● TVI / AHD用BNCコネクター	HD-TVI/ AHDビデオ信号用コネクターに使用されます。
● センサー I/Oポート	センサー入出力接続に使用されます。

DIPスイッチ設定

カメラを設置する前に、カメラIDと通信プロトコルを設定するためにDIPスイッチを設定してください。



❑ カメラIDの設定

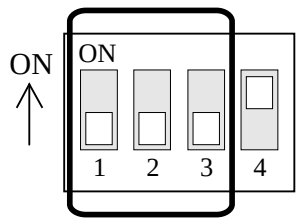


- カメラのID番号が進数で設定されています。以下に示す例を参照してください。

Pin	1	2	3	4	5	6	7	8
Binary Value	1	2	4	8	16	32	64	128
ex) ID=5	on	off	on	off	off	off	off	off
ex) ID=10	off	on	off	on	off	off	off	off

- カメラIDの範囲は「1～255」です。**カメラIDは「0」にすることはできません**。
- カメラIDの出荷時のデフォルト値は「1」です。
- DVRまたはコントローラーの「Cam ID」設定とカメラIDを一致させます。
- コントローラーに１つのカメラを接続する場合は、カメラを終了します。 1つのコントローラーに複数のカメラを接続する場合、通信回線上の最後のカメラを終了します。最後のカメラとは、コントローラーから最も遠いカメラのことを指します。

❑ 通信プロトコル設定



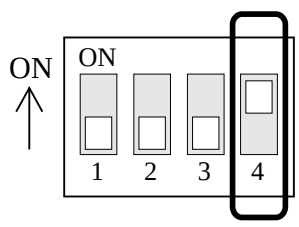
- ディップスイッチの組み合わせで適切なプロトコルを選択します。

スイッチモード			プロトコル
P0 (Pin 1)	P1 (Pin 2)	P2 (Pin 3)	
OFF	OFF	OFF	PELCO-D, 2400 bps
ON	OFF	OFF	PELCO-D, 9600 bps
OFF	ON	OFF	PELCO-P, 4800 bps
ON	ON	OFF	PELCO-P, 9600 bps
OFF	ON	ON	HIKVISION-C Coaxitron
ON	ON	ON	PELCO-C Coaxitron
その他			Reserved

- カメラをコントロールするDVRまたはコントローラーの設定上のカメラプロトコルとカメラ自体のプロトコルを一致させます。

❑ 終端抵抗の設定

- カメラの電源をオフにした後、ディップスイッチを調整します。あなたはDIPスイッチを変えることで、カメラのプロトコルを変更した場合は、カメラを再起動した後、変更が有効になります。
- 工場出荷時のデフォルトプロトコルは「Pelco-D、2400bps」です。
- Pelco-CまたはHikvision-Cプロトコルを使用する前に、プロトコルをサポートしているかどうかDVRをチェックします。

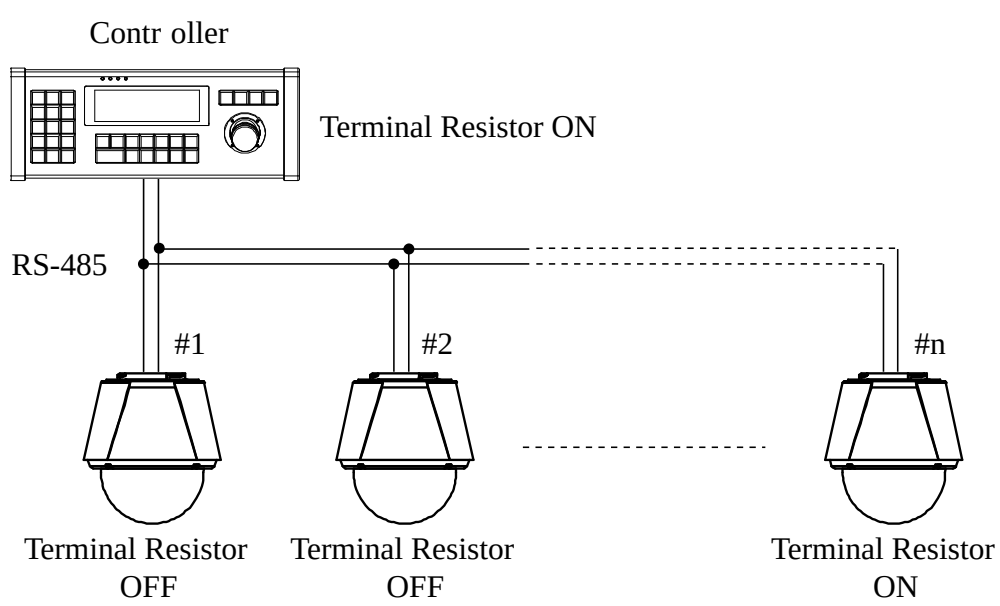


4番目のディップスイッチでカメラの終端抵抗をON に変更してください。

以下のようなケースの場合、終端抵抗を使用してください。

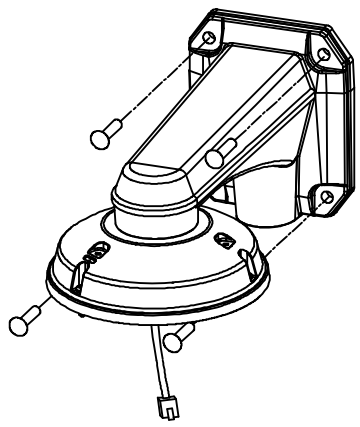
- **カメラから離れた場所でコントロールする場合（1対1の場合）**
  コントローラーがカメラから離れている際、抵抗が合わない場合があります。
  コントローラーの抵抗を合わせるのと同様にカメラの終端抵抗を設定してください。

- **同じネットワークで沢山のカメラを繋げる場合**
  同じネットワークで沢山のカメラを繋げた場合、信号ロスが起こる場合があります。
  コントローラーと同様に一番遠くに設置しているカメラのみの終端抵抗をONに変更してください。ただし、その他のカメラの終端抵抗をOFFのままにしてください。

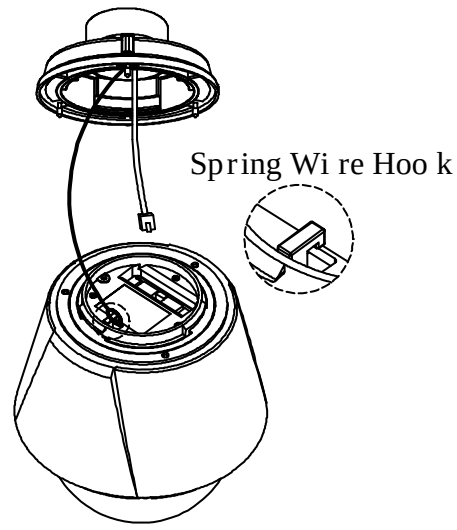


壁面取付金具の設置方法

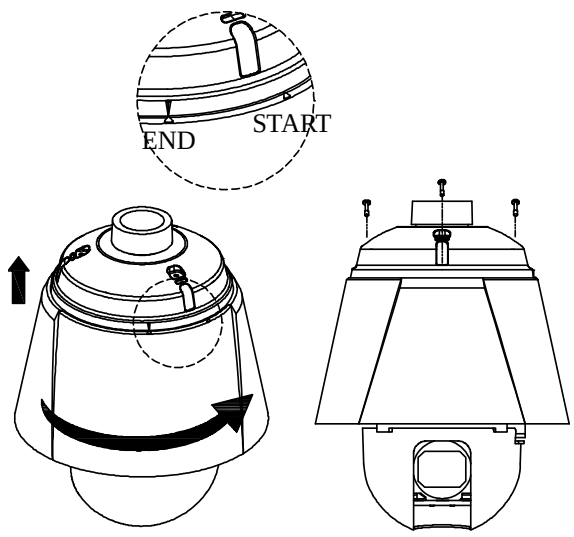
①ワイヤーとケーブルを通過させる穴を開口します。壁面取付金具を準備します。以下のようにシステム用のワイヤーおよびケーブルを引き出します。壁面にブラケットを取り付けます。 （六角ねじ#14×50）



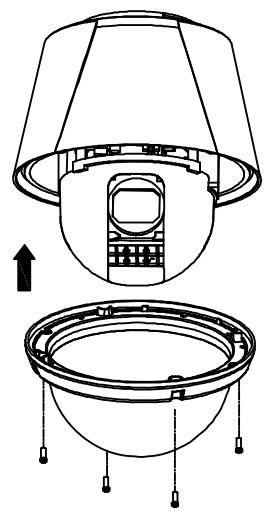
②以下のようにワイヤーおよびケーブルを引っ張るために本体に「ドロップ防止スプリング」をフックにかけます。



③金具側とカメラ本体部を合わせた後、下図のように回します。最終的に金具側のラインとカメラ本体部側のラインが合うようにし、3本のネジで固定します。 （トルクスねじM4×18）。



④ 本体にドームカバーを取り付け、保護ビニールを外します。

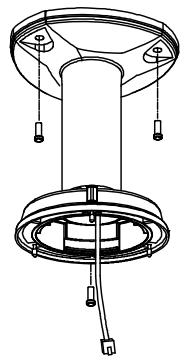


<u>注意</u>

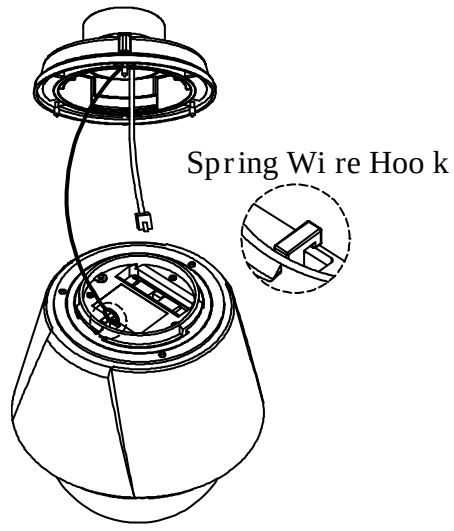
● 設置前に、カメラのIDとプロトコルが正しく設定されていることを確認してください。

天井取付金具(オプション)の設置方法

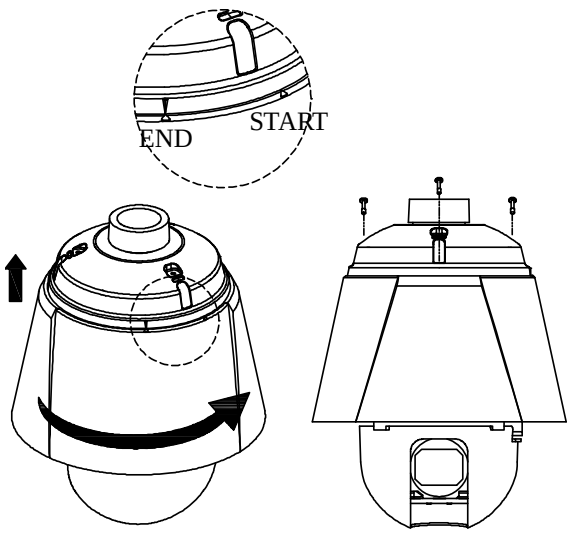
①ワイヤーとケーブルを通過させる穴を開口します。天井マウントブラケットを準備します。以下のようにシステム用のワイヤーを引き出します。（アンカーボルト3/8" 70）



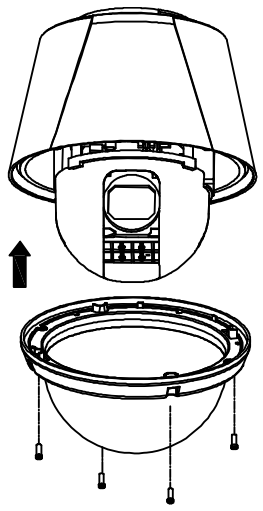
②以下のようにワイヤーおよびケーブルを引っ張るために本体に「ドロップ防止スプリング」をフックにかけます。



③金具側とカメラ本体部を合わせた後、下図のように回します。最終的に金具側のラインとカメラ本体部側のラインが合うようにし、3本のネジで固定します。 （トルクスねじM4×18）。



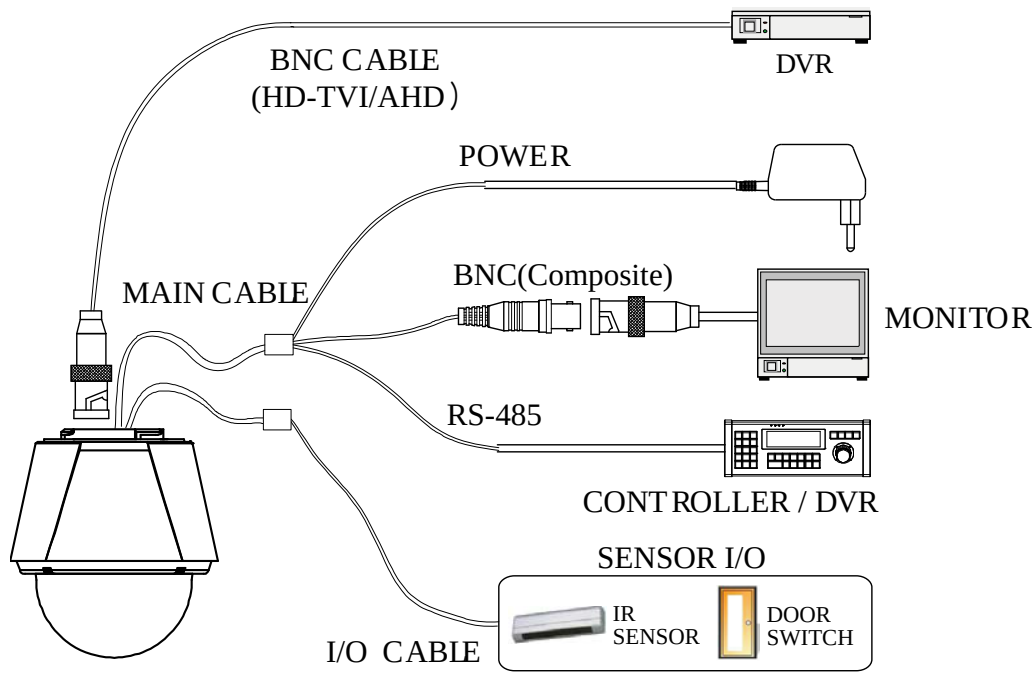
④本体にドームカバーを取付、保護ビニールを外します。



<u>注意</u>

- 設置前に、カメラのIDとプロトコルが正しく設定されていることを確認してください。

結線



❑ ポート説明

- メインケーブル

ポートPIN番号 (RJ45)	コネクター/ワイヤー色	信号
1	BNCコネクター	Video +
2,4		Video –
5	赤	RS-485 +
3	黄色	RS-485 –
7	オレンジ	Power +
6,8	白	Power –

- I/Oケーブル

ポートPIN番号(RJ25)	ワイヤー色	信号
1	青	IN COM +
2	黄色	IN 1 –
3	緑色	IN 2 –
4	赤	IN 3 –
5	黒	OUT A
6	白	OUT B

❑ 電源の説明

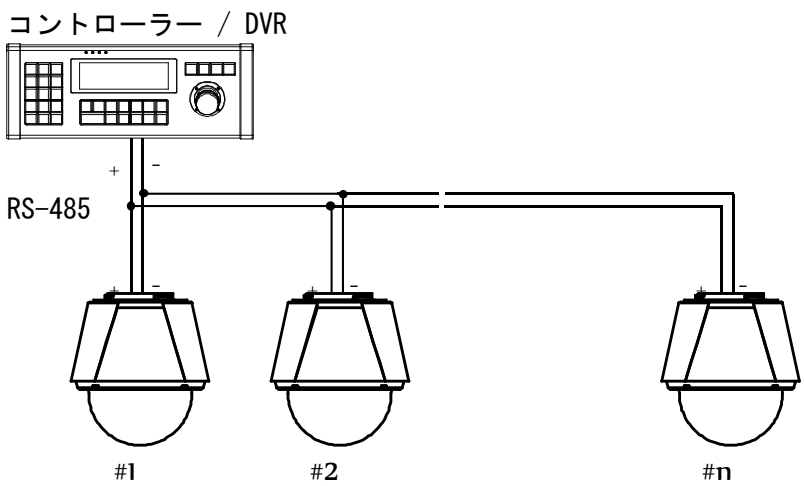
- 電圧および定格電力の電流容量を確認してください。

モデル			入力電圧	消費電流
DC12V入力	ファンヒーター有	MB-N10WW-T	DC 11V～18V	1.0 A

- 極性を間違って接続するとカメラが破損する恐れがありますので、ご注意下さい。
- 結線が長すぎると電圧降下の為にカメラ映像が映らない恐れがあるため、出来るだけ電源をカメラの近くに配線して下さい。

❑ RS-485通信

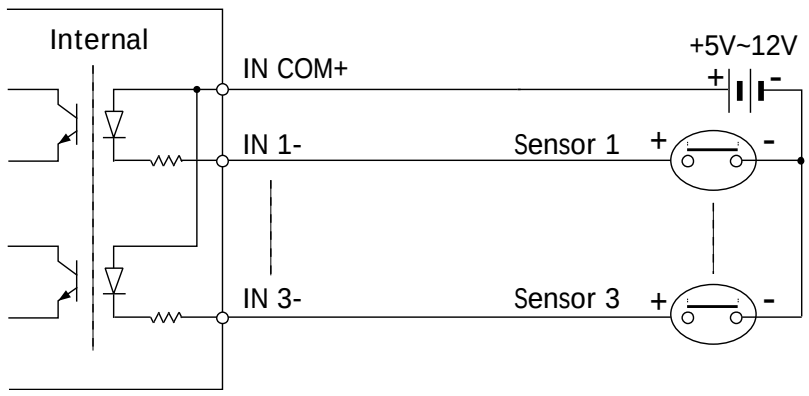
PTZ制御コマンドを指令するキーボードコントローラ、DVRなどを接続してください。複数台のカメラを同時に接続する場合、RS-485通信線を並列に接続して使用してください。



❑ TVI・AHDビデオ出力

- TVIの映像信号またはAHDビデオ信号対応のDVRと接続します。フルHDの場合（1080）、AHDカメラがAHD2.0バージョンDVRに接続してください。
- 5C-HFBTケーブルでの接続の場合、最大映像伝送距離は500メートルになりますが、距離は「DVRの種類」または「同軸ケーブルの種類」によって影響を受けるため、映像伝送距離が異なる可能性があります。また、長距離ビデオ伝送は、ビデオ画質に影響を与える可能性があります。

❑ センサー入力



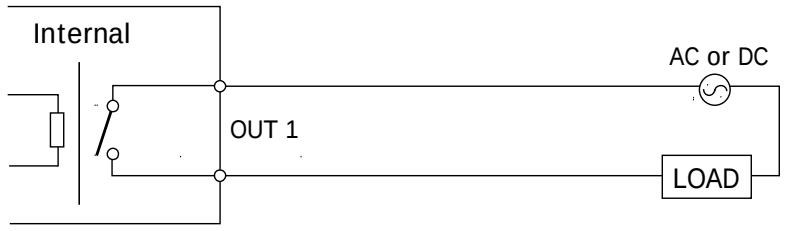
センサーを結線する前に、電源とセンサー出力方式を確認します。センサー出力方式はOpen Collector方式とVoltag Output方式との二種類があります。各状況に合う結線を選択して下さい。

信号線	機能
IN COM+	入力回路の電源です。センサーで電源の(+)極性と連結して下さい。
IN1 -, IN2 -, IN3 -	センサー出力信号を連結して下さい。

センサーを使用する際に、センサータイプを設定して下さい。センサータイプは主にNormal OpenとNormal Closeとの二種類に分けられます。センサー入力を間違って選択した場合、センサー入力の動作は逆になります。

⊙ Normal Open	センサーが動作する時電圧が出力される方式
⊙ Normal Close	センサーが動作しない時電圧が出力される方式

❑ リレー出力



最大接続可能な負荷は次のとおりです。

電源タイプ	DC	AC
Maximum Load	MAX. DC 24V, 1A	MAX. AC 125V, 0.5A

取付確認

- 電源を入れる前に結線が正常か確認して下さい。
- 操作するカメラIDとコントローラーIDとを一致させます。カメラIDは画面またはDIPスイッチで確認できます。
- コントローラー側の通信プロトコルとカメラ側のプロトコルとを一致させます。
- カメラプロトコルを変更する場合には、必ず電源を切ってから行って下さい。
- コントローラーの種類により、機能や使用方法が異なる場合がありますので、正常に操作できない場合はコントローラーマニュアルをご参照下さい。当マニュアルのプロトコルはPelcoに基づいて作られています。

プリセット及びパターン機能確認

- カメラの主な機能を習得する為に、まずコントローラーやＤＶＲでPresetとPattenの実行方法を確認してください。
- コントローラーで標準Pelcoプロトコルの使用方法を参考にして下さい。

< Go Preset >	設定したい『Preset No』を入力して、『Preset』ボタンを押します。
< Set Preset >	設定したい『Preset No』を入力して、『Preset』ボタンを2秒以上押します。
< Run Pattern >	設定したい『Pattern No』を入力して、『Pattern』ボタンを押します。
< Set Pattern >	設定したい『Pattern No』を入力して、『Pattern』ボタンを2秒以上押します。

- 『Pattern』機能が付いてないコントローラーやＤＶＲをご使用になる場合でも、カメラの全ての機能は制御可能です。当マニュアルのプリセット機能のページをご参照ください。

OSDメニュー

- 機能　　カメラのOSDメニュー機能を使用して、映像設定をすることが可能です。
  Preset/ Pattern/ Swing/ Group等のPTZ動作を設定することも可能です。
- 設定方法　　プリセット実行[95]

特殊機能のプリセット

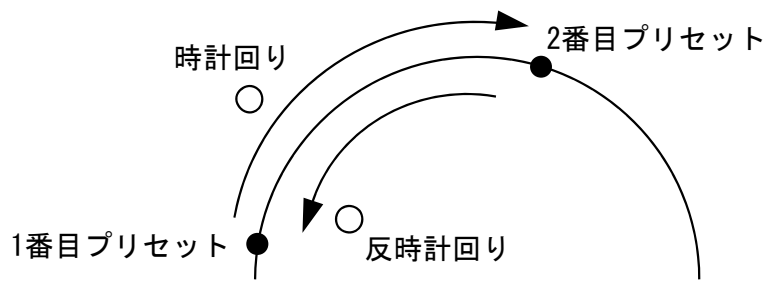
- 説明　一部プリセット番号は以下のような特殊機能を実行します。
- 機能　プリセット実行 [95]　:OSDメニューを選択します。
  プリセット実行 [131～138]　: パターン1～4を実行します。
  プリセット実行 [141～150]　: スイング1～10を実行します。
  プリセット実行 [151～158]　: グループ1～8を実行します。
  プリセット実行 [161]　: リレー出力をオフにします
  Set Preset [161]　: リレー出力をオンにします
  プリセット実行 [167]　: ONにズーム比例機能を設定します
  Set Preset [167]　: OFFにズーム比例機能を設定します
  プリセット実行 [170]　: OFFにカメラBLC/ WDRモードの設定
  プリセット実行 [171]　: ONにKamera BLC/ WDRモードの設定
  プリセット実行 [174]　: AUTOにカメラフォーカスモードを設定します
  プリセット実行 [175]　: 手動に設定カメラのフォーカスモード
  プリセット実行 [176]　: SEMI-AUTOに設定するとカメラフォーカスモード
  プリセット実行 [177]　: AUTOにデイ＆ナイトモードを設定します
  プリセット実行 [178]　: NIGHTにデイ＆ナイトモードを設定します
  プリセット実行 [179]　: DAYにデイ＆ナイトモードを設定します
  プリセット実行 [190]　: （プライバシーマスクを除いて）AUTOにOSD表示モードを設定します
  プリセット実行 [191]　: （プライバシーマスクを除いて）OFFにOSD表示モードを設定します
  プリセット実行 [192]　: （プライバシーマスクを除く）をONに設定OSD表示モード
  プリセット実行 [193]　: OFFへのすべてのプライバシーマスクの表示を設定します
  プリセット実行 [194]　: ONにすべてのプライバシーマスクの表示を設定します

プリセット

- 機能　最大209ヶ所までプリセット位置を指定する事が可能です。
  ホワイトバランス、自動露出などのようなカメラパラメータは、個々に設定することができ、各プリセットは独自のパラメータ値を持つことができます。
  操作キーを使用して直接プリセット位置を指定する場合はレベルがBlankに、映像設定はGlobalモードに自動設定になります。各設定値を変更する場合はOSDメニューをご利用下さい。OSDメニューでもプリセット位置を設定することが可能です。
- プリセットの設定　Set Preset [1～255]
- プリセットの実行　Go Preset [1～255]
- プリセットの削除　OSDメニューを利用し、削除して下さい。

スイング

- 機能　スイングは二つのプリセット位置を往復運転する機能です。スイングを実行しますと、一番目のプリセット位置から二番目のプリセット位置まで時計回りに運転します。その後、反対に二番目のプリセット位置から一番目のプリセット位置まで逆時計回りに運転します。



  一番目のプリセットと二番目のプロセットを同じプリセットに設定しますと、360°回転し続けます。
  運転速度を1°/秒～180°/秒範囲内で設定をすることが可能です。
- スイング設定　OSDメニューをご使用になり設定を行って下さい
- スイング実行　方法1) <Run Pattern> [スイングNO. + 10]　ex) スイング3番実行 : <Run Pattern> [13]
  方法2) <プリセット実行> [スイングNO. + 140]　ex) スイング3番実行: <プリセット実行> [143]
- スイング削除　OSDメニューを利用し、削除して下さい。

パターン

- 機能

パターンは一定の期間内に実行したジョグ運転,及びプリセット運転状態をそのまま記録して実行する機能です。最大8つのパターンを記憶することが出来ます。各パターンに最大880の通信命令を保存することが可能です。

- パターンの設定

パターンの設定は以下の２種類から選択することが出来ます。

方法1) <Set Pattern> [パターンNO.]

○ 以下のような設定画面が表示されます。

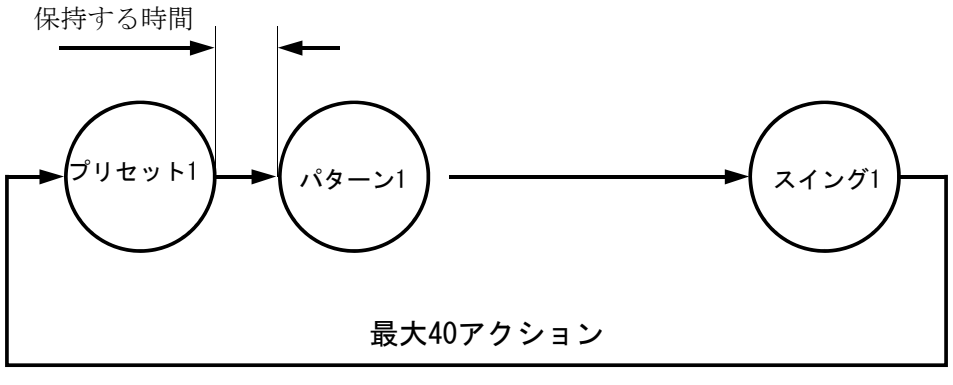
```
EDIT PATTERN 1
□□□
```

グループ

- 機能　グループ機能は,プリセット/パターン/スイング機能を組合せて繰返し実行する機能です。最大8つのグループを指定することが可能で、各グループには最大40個の動作（プリセット/パターン及びスイング）を設定することが出来ます。グループ内に設定したプリセットは運転速度を指定することが可能です。また、パターン及びスイングの繰返し回数を指定することが出来、各動作を実行後に運転の停止時間を設定出来ます。
- グループの設定　OSDメニューをご利用になり設定して下さい。
- グループの実行　方法1) <Run Pattern> [グループNO. + 20]　ex) グループ7番実行 : <Run Pattern> [27]
  方法2) <プリセット実行> [グループNO. + 150]　ex) グループ7番実行: <プリセット実行> [157]
- グループの削除

その他の機能

- Power Up Action
  （パワーアップアクション）
  カメラ電源を入れてから切断するまでに設定を実行する機能です。ジョグ運転以外のプリセット/パターン/スウィン/グループ運転が実行されます。
- Auto Flip
  （自動フリップ）
  チルト運転が90°を超えた場合、自動的に映像をフリップする機能です。映像フリップが動作する場合、画面にFの文字が表示されます。この機能がOFFになればチルトの運転範囲が0～95°に変更されます。
- Parking Action
  （パーキングアクション）
  一定の時間内にカメラが運転をしない場合、指定のプリセット位置が自動的に移動する機能です。”Wait Time”は1分～3時間の間に設定することが可能です。



- Alarm Input
（アラーム入力）

3つのアラーム入力をお使いになることが可能です。アラーム入力が動作しますと、事前に設定されたプリセット位置に移動することが可能です。1つ以上のアラーム入力が動作する場合は、最後に入力された信号に反応します。

- Schedule
(スケジュール)

スケジュールは8ヶ所プログラム可能です。カメラは、割り当てられた時間にプリセット、パターン、スイングやグループなどの機能を実行します。事前定義された時間が経過した後、「ポストアクション」が実行されます。期間は、時間/日/週/月で構成することができます。

- Privacy Zone Mask
（プライバシーゾーンマスク）

任意の位置を映像でMASK処理する機能です。最大4つの位置を設定することが出来ます。曲面座標を利用して高性能MASK機能を活用することが出来ます。

- Password for OSD
（OSD用パスワード）

パスワードは、OSDメニューで設定することができ、OSDメニューを保護することができます。

【重要】パスワードのメモを取ることをお勧めします。パスワードを忘れてしまった場合にはロックを解除することができず、工場での初期化が必要になります（有償）。

- GLOBAL/LOCAL Image Setup
（グローバル/ローカルイメージセットアップ）

プリセットごとにWB(White Balance)及びAE(Auto Exposure)設定を個別に指定出来るように“Globalモード”と“Localモード”が用いられています。

“ZOOM CAMERA SETUP”メニューで指定したWB/AE値は“Localモード”の設定値です。

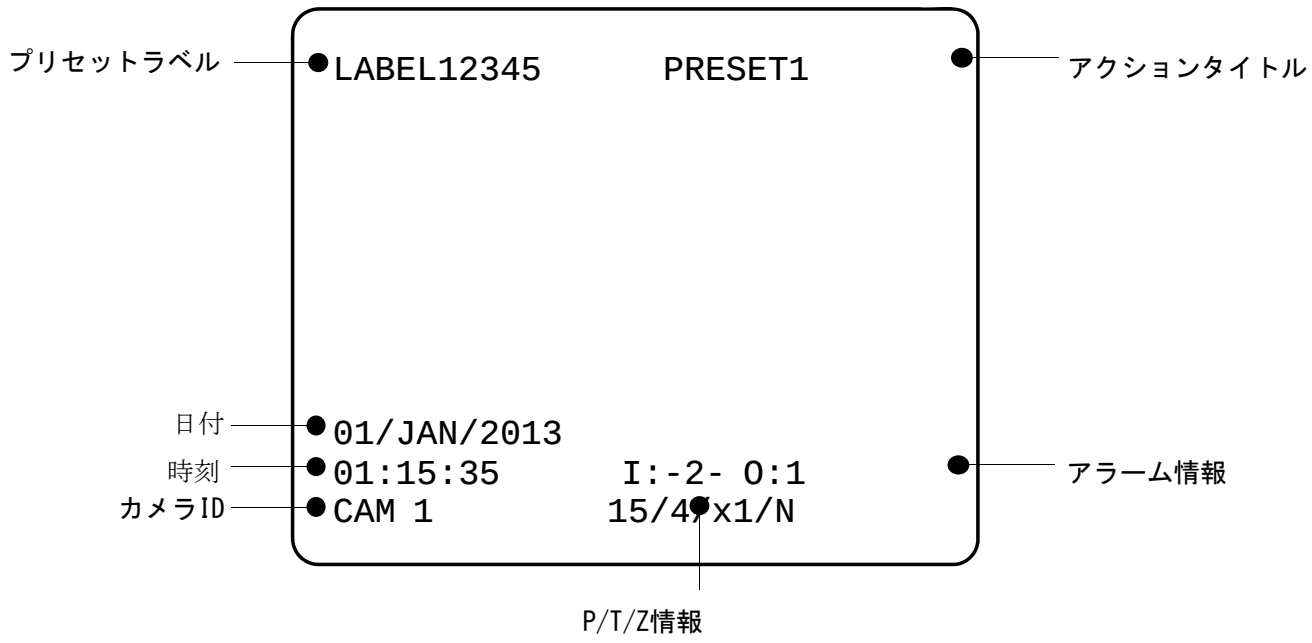
Localモードで指定したWB/AE設定値は、該当するプリセット運転時に自動的に適用されます。ジョグ運転でプリセット運手を解除しますと、自動的にGlobal設定になります。

プリセット設定で指定したLocalモードの設定値が、Globalモードの設定値に変更されてもそのまま維持されます。

- Semi-Auto Focus
（セミオートフォーカス）

Manual FocusとAuto Focusモードを自動切り換え出来るモードです。プリセット運転時にManual Focusが適用します。他のジョグ運転でもAuto Focusに自動切り換え出来、プリセット設定時に決められたFocus値に固定されます。プリセット運転時には、より早いFocus性能を発揮することにより、ジョグ運転切り換え時よりも便利にお使い頂くことが出来ます。

メイン画面のOSD構成



- P/T/Z情報　　現在のパン・チルト・ズーム位置を表示します。
- カメラID　　カメラIDを表示します。
- アクションタイトル　　以下のアクションタイトルに表示される情報です。

"SET PRESET xxx"	プリセット位置を設定する場合
"PRESET xxx"	プリセット位置を移動する場合
"PATTERN x"	パターン運転を実行する場合
"SWG×/PRESET xxx"	スイング運転中の場合、スイング番号とプリセット番号が表示されます。
"UNDEFINED"	設定されていない運転を実行する場合

- プリセットラベル　　プリセット運転時プリセットに設定されたラベルを表示します。
- アラーム情報　　センサー入力の状態を表示します。入力がONの場合は該当数値が表示され、OFFの場合‘ー’が表示されます。

  例) 入力が2，3の場合。

  I:-23 O:1

メニュー使用方法

- <　>のあるメニューにはサブメニューがあります。
- サブメニューへの移動はNEARボタンを押します。
- メニュー項目でFARキーを押すと前のメニューに戻ります。
- メニュー内のカーソルを移動するには、ジョイスティックのUp/DownまたはLeft/Rightを使用します。
- 設定値を変更するにはジョイスティックのUp/Downを使用します。
- 変更した設定値を保存するにはNEARキーを、削除するにはFARキーをご利用下さい。

メインメニュー

```
SPEED DOME SETUP
------------------------
→<SYSTEM INFORMATION>
 <DISPLAY SETUP>
 <CLOCK SETUP>
 <DOME CAMERA SETUP>

 <PASSWORD SETUP>
 <SYSTEM INITIALIZE>


 EXIT
```

- システム情報　システム情報と設定を表示します。システム設定は、OSDメニューを使用して変更で、情報は参考値です。
- 表示設定　ラベル設定と表示方法の設定を行います。
- 時間設定　現在時刻の設定と表示方法の設定を行います。
- ドームカメラ設定　カメラの様々な設定と表示方法の設定を行います。
- パスワード設定　OSD上のパスワード設定を行います。
- システム初期化　データを初期化します。

ディスプレー設定

```
DISPLAY SETUP
------------------------
→CAMERA ID            ON
 PTZ INFORMATION      AUTO
 ACTION TITLE         AUTO
 PRESET LABEL         AUTO
 ALARM I/O            AUTO
 LANGUAGE             ENG
 <SET NORTH DIRECTION>
 <PRIVACY ZONE>
 BACK
 EXIT
```

メイン画面の表示を項目ごとに設定します。

- AUTOに設定した場合には、各情報が変更される場合にのみ表示されます。

● Camera ID [ON/OFF]
（カメラID） 選択したカメラIDを表示します。

● PTZ Information [ON/OFF/AUTO]
(PTZ情報) パン/チルト、ズーム倍率と現在のコンパス方向の位置を表示します。

● Action Title [ON/OFF/AUTO]
（アクションタイトル） アクションを識別します。
"SET PRESET xxx"：プリセット位置を設定する場合
"PRESET xxx"：プリセット位置に移動した場合
"PATTERN x"：パターン運転を実行した場合
"SWG/PRESET xxx"：スイングが動作している場合、スイング番号とプリセット番号表示
"UNDEFINED"：設定されていない運転を選択した場合

● Preset Label [ON/OFF/AUTO]
（プリセットラベル） カメラがプリセット位置に来た際、プリセットラベルを表示します。

● Alarm I/O [ON/OFF/AUTO]
(アラームI/O) センサー入力/出力の状態を表示します。その入力/出力がONされ た場合には、その数字が表示され、OFFの場合には、「 - 」が表示 されます。
例）入力2,3がON、出力1がONされた場合。

```
I:-23 O:1
```

● Language [ENG/POL/FRN/ITL]
(言語) 言語の設定をします

❑ 位置初期化

```
SET NORTH DIRECTION
-------------------------
MOVE TO TARGET POSITION
[NEAR:SAVE   /FAR:CANCEL
```

初期位置は北を指定します。カメラを動かして向けたい方向を決めてNEARキーで保存します。

プライバシーマスク設定

```
PRIVACY ZONE
------------------------
→MASK NO        1
                UNDEFINED
 DISPLAY        OFF
 CLEAR MASK     CANCEL
 <EDIT MASK>

 BACK
 EXIT
```

希望映像領域をマスク処理するように設定します.

- Mask NO　[1～8]
  指定したいマスク番号を選択します。すでにマスクが指定されている場合、その位置に移 動し、空の場合マスクNoの下に「UNDEFINED」が表示されます。
- Display　[ON/OFF]
  選択されたマスク番号が表示設定されます。
- Clear Mask　[CANCEL/OK]
  選択された番号のマスクを削除します。

❑ プライバシーゾーンマスク　エリア設定

```
EDIT MASK 1
------------------------

MOVE TO TARGET POSITION
[NEAR:SELECT/FAR:CANCEL]
```

マスクをしようとする位置に移動します。
位置を設定すると、マスクサイズを調整するメニューが表示されます。

❑ プライバシーゾーンマスク　サイズ設定

```
EDIT MASK 1
------------------------

[◀▶:ADJUST MASK WIDTH]
[▲▼:ADJUST MASK HEIGHT]

[NEAR:SAVE  /FAR:CANCEL]
```

マスクのサイズを調整します．ジョグを上下/左右に移動すると、サイズが変更されます．

- ◀ ▶（左/右）　マスクの幅を調整します。
- ▲ ▼（上/下）　マスクの高さを調整します。

時刻設定

```
CLOCK SETUP
------------------------
→DISPLAY DATE        ON
 DISPLAY TIME        ON
 SET CLOCK
  ●01/JAN/2013 TUE
  ●00:01:02 [hh:mm:ss]


 BACK
 EXIT
```

- Display Date　[ON/OFF]
  日付表示のON/OFFを設定します。
- Display Time　[ON/OFF]
  時刻表示のON/OFFを設定します。
- Set Clock　[CANCEL/OK]
  現在の日付と時刻を設定します。

カメラ設定

```
CAMERA SETUP
------------------------
→HD VIDEO OUT    1080p30
 FOCUS MODE      SEMIAUTO
 DIGITAL ZOOM    ON
 FLICKERLESS     OFF
 IMAGE FLIP      OFF
 <WHITE BALANCE SETUP>
 <AUTO EXPOSURE SETUP>
 <SPECIAL>
 BACK
 EXIT
```

ズームカメラの基本的な設定を行います。

- HD Video Out　[1080p30/720p60/720p30] または [1080p25/720p50/720p25]
  AHD/TVIの解像度の設定をします。DVRの解像度と一致させてください。NEARボタンを押して10秒以内に確認がない場合、それは自動的に以前の設定に復元されます。
- Video Out　[TVI(AHD)/Analog]
  TVI（AHD）またはアナログを選択します。TVI（AHD）ビデオとアナログビデオを同時にサポートされていません。
- Focus Mode　[AUTO/MANUAL/SEMIAUTO]
  カメラのフォーカスモードを設定します。
  ○ SEMIAUTO Mode（セミオートモード）
  マニュアルフォーカスとオートフォーカスモードを自動的に切り替えるモードです。 プリセット運転時には、マニュアルフォーカスが適用され、その他のジョグ運転などではオートフォーカスに自動的に切り替わります。プリセット設定時に決定されたフォーカス値が固定されるので、プリセット運転時には、より高速なフォーカス性能を持つことができ、ジョグ運転の切り替え時には、より便利に使用することができます。
- Digital Zoom　[ON/OFF]
  デジタルズームの設定をします。OFFに設定した場合、ズーム機能は、光学ズーム最大倍率の終わりで停止します。
- Flickerless　[ON/OFF]
  フリッカーレスの設定をします。50Hzの周波数環境で使用される場合、電源周波数がカメラの同期周波数とは異なるため、モニターにちらつきが出てしまいますので、ONに設定してください。
- Image Flip　[ON/OFF]
  イメージフリップ機能を設定します。この機能をONに設定すると、常に反転した画像が映し出されます。

OSD MENU 4

❑ ホワイトバランス設定

```
WB SETUP - GLOBAL
------------------------
→WB MODE          AUTO
 ●RED  ADJUST     ---
 ●BLUE ADJUST     ---



 BACK
 EXIT
```

- WB Mode　[AUTO/INDOOR/OUTDOOR/MANUAL]
  色温度範囲に応じてカラーバランスを保持します。マニュアルモードでは、赤と青のレベルを手動で設定することができます。
- Red Adjust　[0-20]
  赤の範囲内の映像出力を調整します。
- Blue Adjust　[0-20]
  青の範囲内の映像出力を調整します。

❑ 自動露出設定

```
AE SETUP-GLOBAL
------------------------
→DAY/NIGHT        AUTO
 BACKLIGHT        OFF
 WDR              OFF
 AE MODE          AUTO
 ●IRIS            ---
 ●AGC             ---
 ●SHUTTER         ---
 ●BRIGHT          10
 BACK
 EXIT
```

- Day/Night（デイナイト）　[AUTO/DAY/NIGHT]
  デイナイトモードを設定します。
- Backlight（バックライト）　[ON/OFF]
  逆光補正を設定します。
- WDR　[ON/OFF]
  ワイドダイナミックレンジを設定します。
- AE Mode　[AUTO/SHUTTER/IRIS/MANUAL]
  オートエクスポージャーモードを設定します。
- Iris（アイリス）　[0～16/OPEN]または[CLOSE/5～16/OPEN]
  AEモードがIRISモードまたは手動モードに設定されている場合に設定することができます。
- AGC　[0dB～60dB]または[0dB～45dB]
  AEモードがマニュアルモードに設定されている場合に設定することができます。
- Shutter（シャッター）　[×32～1/30000]または [1/8～1/30000]または [1/6～1/30000]
  AEモードがシャッターモードまたはマニュアルモードに設定されている場合に設定することができます。
- Bright　[0～14]または[0～20]
  画像の明るさを設定します。AEモードがMANUALモードに設定されている時は設定できません。

❑ 特別な設定

```
SPECIAL
------------------------
→AUTO DSS          ON
 NIGHT>DAY LEVEL   10
 APERTURE          6
 NR                3
 STABILIZATION     OFF
 HLC               OFF
 DEFOG             OFF
  ●LEVEL           ---
 BACK
 EXIT
```

- Auto DSS（オートDSS） [ON/OFF]
  ONに設定すると、明るさが低下したときにスローシャッターがに自動的に設定されます。
- Night > Day Level（デイナイトレベル） [0～28]
  デイモード・ナイトモード調整のため感度を調整します。
- Aperture（絞り値） [0～10]
  画像内のオブジェクトのエッジの強調を調整します。
- NR（ノイズリダクション） [OFF/1～5]または[AUTO/OFF/1～3]
  鮮明な画像を提供するために、ノイズを除去します。
- Stabilization（スタビライザー） [ON/OFF]
  風等により画像の振動を補正します。振動の画像をデジタルズーム機能によって補償され、この機能がオンになっているときに、この機能を備えた画像解像度は、通常の画像の解像度よりも低くなければなりません。
- HLC（ハイライト補正） [ON/OFF]
  駐車場などの光源の限られた環境でのハイライトを削除します
- Defog（デフォグ） [ON/OFF]
  デフォグ機能の設定とレベルを調整します。

モーション設定

```
MOTION SETUP
------------------------
→MOTION LOCK      OFF
 PWR UP ACTION    ON
 AUTO FLIP        ON
 JOG MAX SPEED    120/SEC
 JOG DIRECTION    INVERSE
 FRZ IN PRESET    OFF
 <PARKING ACTION SETUP>
 <ALARM INPUT SETUP>
 BACK
 EXIT
```

パン/チルト機能の基本的な設定をします。

● Motion Lock (モーションロック) [ON/OFF]
モーションロック機能です。ONに設定すると、プリセット、スイング、パターン、グループ機能を削除したり、新規に設定したりすることを防ぎます。これらの機能を設定・削除する場合は、OSDメニューから行ってください。

● Power Up Action [ON/OFF]
「その他の機能」の項目をご参照ください。

● Auto Flip [ON/OFF]
「その他の機能」の項目をご参照ください。

● Jog Max Speed [1°/秒～360°/秒]
ジョグ最大運転速度を指定します。ジョグ運転速度は、ズーム倍率に連動されるので、ズーム倍率が大きくなるほど速度が低下します。

● Jog Direction [INVERSE/NORMAL]
「Inverse」に設定すると、ジョグの方向と画面移動が一致します。「Normal」に設定すると、ジョグの方向と画面移動が逆になります。

● Freeze in Preset [ON/OFF]
プリセット運転時の移動前に映像を静止させて移動した後の映像を復元します。

❑ パーキングアクション設定

```
PARKING ACTION SETUP
------------------------
→PARK ENABLE    OFF
 WAIT TIME      00:10:00
 PARK ACTION    HOME




 BACK
 EXIT
```

● Park Enable [ON/OFF]
”PARK ENABLE”を設定すると、自動的にカメラに設定された機能を実行し、PTZが設定されていない場合は”Wait Time”が表示されます。

● Wait Time （待ち時間） [1～59秒 / 1～180分]
“分：秒”で表示され、秒単位で設定します。

● Park Action [HOME/PRESET/PATTERN/SWING/GROUP/PREV ACTION]
”HOME” “Wait Time”を決定する際、PTZコマンドがないとカメラがhomeの位置に移動します。

❑ アラーム入力設定

```
ALARM INPUT SETUP
------------------------
→ALARM NO.      1

 TYPE           N.OPEN
 ACTION         NOT USED
 HOLD TIME      ENDLESS
 POST ACTION    HOME


 BACK
 EXIT
```

アラーム機能を定義します。アラームを受信すると、ユーザーが定義したアクションプログラムを作動します。

- Alarm No　[1～3]
  設定したいセンサーナンバーを選択します。
- Type　[Normal OPEN/Normal CLOSE]
  入力センサーの動作方式を設定します。
- Action　[NOT USED/PRESET/PATTERN/SWING/GROUP]
  センサー信号が入力されたときに実行するアクションを選択します。
- Hold Time　[ENDLESS / 1～59秒 / 1～180分]
  アクションの継続時間を設定します。設定した時間が経過すると、下記「ポストアクション」で設定されているアクションが実行されます。
  「ENDLESS」に設定された場合、ポストアクションは実行されません。
- Post Action　[HOME/PRESET/PATTERN/SWING/GROUP/PREV ACTION]
  「ホールド時間」の期間が経過した後にカメラが実行するアクションを選択します。ポストアクションはPREV」に設定されている場合。 ACTION」は、カメラはそれが直前に実行されたアクションを実行します。

プリセットセットアップ

```
PRESET SETUP
-----------------------
→PRESET NO.     1

 CLR PRESET     CANCEL
 <EDIT SCENE>
 <EDIT LABEL>   LABEL123
 RELAY OUT      OFF
 CAM ADJUST     GLOBAL

 BACK
 EXIT
```

- Preset Number　[1～255] 最大209ヶ所
  設定したいプリセット番号を選択します。すでに設定されている番号を選択した場合、プリセットが実行されLabel/ CAM Adjust と同じプリセット設定値が表示されます。プリセットが設定されていない場合はプリセット番号の下に”UNDEFINED”と表示されます。
- Clear Preset　[CANCEL/OK]
  選択されたプリセット設定が削除されます。
- Edit Preset Scene　サブメニューでプリセット位置を設定します。
- Edit Preset Label　プリセット移動時に、画面に表示されるLabelを指定します。Labelは最大10まで入力可能です。
- Relay Out　プリセット運転時アラームリレー出力は稼動します。
- CAM Adjust　[GLOBAL/LOCAL]
  プリセットごとにWB(ホワイトバランス)設定及びAE(自動露出)設定をそれぞれ行います。2 種類のモードがあり、”GLOBAL”モードは”ZOOM CAMERA SETUP”メニューから設定された値をそのまま使用します。”LOCAL”は該当プリセットのみ適用されるWB/AE 設定を別々に指定します。
  LOCAL”を選択するとWB/AE設定の画面が表示されます。

❑ プリセットシーン設定

```
EDIT SCENE - PRESET 1
------------------------
MOVE TO TARGET POSITION
[NEAR:SAVE  /FAR:CANCEL]
```

① 希望の位置にカメラを移動するにはジョイスティックを使用してください。
② NEARキーを押して、プリセット位置を保存します。
③ FARキーを押すと、プリセット位置を解除します。

❑ プリセットラベル設定

```
EDIT LABEL - PRESET 1
------------------------
  [                ]
   ----------
   1234567890     OK
   ABCDEFGHIJ     CANCEL
   KLMNOPQRST
   UVWXYZabcd
   efghijklmn
   opqrstuvwx
   yz<>-/:. ←
   ----------
```

ラベル編集で表示される部分が下図のカーソルの位置になり、文字選択をすると次の選択位置が自動的に右に移動していきます。

```
[ □        ]
↑
Current Cursor Position
```

① ジョイスティックの(LEFT/RIGHT/UP/DOWN) を使用して、文字セットから使用したい文字を選択します。選択し終わったら、NEAR キーを押してください。

②

```
----------
1234567890
ABCDEFGHIJ
KLMNOPQRST
UVWXYZabcd
efghijklmn
opqrstuvwx
yz<>-/:. ←
----------
```

Space Char.　Back Space Char.

空欄に設定する場合は、(“ “) を選択します。現在の文字を削除して左側に移動したい場合は、バックスペース(“←”)を選択します。

③ LABEL 設定を完了しましたら、”OK”の位置にカーソルを移動させて、NEARキーを押して保存します。”CANCEL”を選択すると保存をキャンセル可能です。

スイング設定

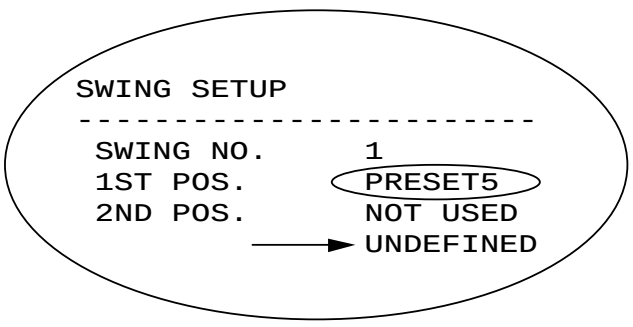
```
SWING SETUP
------------------------
→SWING NO.      1
 1ST POS.       NOT USED
 2ND POS.       NOT USED

 SWING SPEED    30/SEC
 CLEAR SWING    CANCEL
 RUN SWING

 BACK
 EXIT
```

● Swing Number　[1～10]
スイング番号を設定します。選択されたスイング番号が設定されていない場合、1st Position と2nd Position が、”NOT USED”と表示されます。

● 1st Position 2nd Position　[PRESET 1～255]
スイング運転の2 つの位置を設定します。設定されていないプリセット番号を選択すると、以下のように”UNDEFINED”と表示されます（下図）。



スイング運転は1st Position→2nd Position の時計回りに移動後、2nd Position→1st Position の反時計回りに移動します。2 つのプリセットが同じように設定された場合、もしくは1 箇所のみのプリセットしか設定されていない場合は、時計回り360 度回転してから反時計回りに360 度ツアー回転します。

● Swing Speed　[1°/秒～180°/秒]
スイングスピード設定

● Clear Swing　[CANCEL/OK]
スイング削除

● Run Swing　スイング実行

パターン設定

```
PATTERN SETUP
------------------------
→PATTERN NO.    1
                UNDEFINED
 CLR PATTERN    CANCEL
 RUN PATTERN
 <EDIT PATTERN>



 BACK
 EXIT
```

- Pattern Number　[1～8]
  パターン番号を選択します。使用していないパターン番号が選択されると下部に“UNDEFINED”と表示されます。
- Clear Pattern　[CANCEL/OK]
  パターンNoを削除します。
- Run Pattern　パターン操作を開始します。
- Edit Pattern　パターンを編集します。

❑ パターン編集

```
EDIT PATTERN 1
[□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□]



[NEAR:SAVE   /FAR:DELETE]
                 0/0/x1/N
```

```
EDIT PATTERN 1
------------------------



MOVE TO START POSITION
[NEAR:START /FAR:CANCEL]
```

① ジョイスティックを使用して、適切なズームと共にスタート位置に移動します。パターン収録をしたいときはNEAR キーを選択してスタートしますFARキーを選択するとこのメニューが終了します。

② ジョグ運転及びプリセット運転を実行するとパターンに保存されます。残された空間はバー表示で確認可能です。パターンごとに最大1200個の命令を保存することが可能です。

③ NEARキーで保存し、FARキーでパターンがキャンセル、終了します。

グループ設定

```
GROUP SETUP
------------------------
→GROUP NO.      1
                UNDEFINED
 CLEAR GROUP    CANCEL
 RUN GROUP
 <EDIT GROUP>



 BACK
 EXIT
```

- Group Number　[1～8]
  選択したいグループ番号を選びます。選択されたグループ番号が設定されていない場合は、グループ番号の下に“UNDEFINED”と表示されます。その未設定番号は選択可能です。
- Clear Group　[CANCEL/OK]
  グループを削除します。
- Run Group　グループを実行します。
- Edit Group　グループを編集します。

❑ グループ編集

①

```
EDIT GROUP 1
------------------------
→NO ACTION ### DWELL OPT
------------------------
  1 NONE
  2 NONE
  3 NONE
  4 NONE
  5 NONE
------------------------
 SAVE
 CANCEL       [NEAR:EDIT]
```

②

```
EDIT GROUP 1
------------------------
 NO ACTION ### DWELL OPT
------------------------
→ 1 NONE
  2 NONE
  3 NONE
  4 NONE
  5 NONE
------------------------
 SAVE     [NEAR:EDIT ACT]
 CANCEL   [FAR :EDIT END]
```

① リスト上部に表示されている”NO”をNEARキー選択するとグループ編集が開始されます。
② 1 つのグループに20個のActionを設定可能です。UP/DOWN を利用してご希望のAction番号で移動してください。NEARキーを選択すると、Actionの編集が可能になります。

③

```
EDIT GROUP 1
------------------------
 NO ACTION ### DWELL OPT
------------------------
  1 NONE
  2 NONE
  3 NONE
  4 NONE
  5 NONE
------------------------
 SAVE   [◀▶:MOVE CURSOR]
 CANCEL [▲▼:CHANGE VAL.]
```

④

```
EDIT GROUP 1
------------------------
 NO ACTION ### DWELL OPT
------------------------
  1 PRESET   1 00:03 360
  2 NONE
  3 NONE
  4 NONE
  5 NONE
------------------------
→SAVE
 CANCEL
```

③ Action種類と停止時間、またOption値を設定します。選択した項目は反転表示されます。項目間のカーソルの移動はLEFT/RIGHTキーを使用してください。各項目の設定値を変更する場合は、UP/DOWNを利用してください。

- Action ### [NONE/PRESET/SWING/PATTERN]
- DWELL [0秒～4分]
  停止時間を設定します。
- OPT オプション値のプリセットでは、プリセットの移動速度を意味します。パターン/ スイングでは繰返しの回数を意味します。

各項目を移動したら、設定値が入力されます。

Action を設定した後、NEAR キーを選択してワンランク上のレベルメニューを開きます。カーソルを移動させUP/DOWNを利用してAction番号を選択します。

④ すべてのActionに対し設定完了後、FARキーを押して”SAVE”項目にカーソルを移動させます。NEARキーを選択すると、設定内容が保存されます。

スケジュール設定

```
SCHEDULE SETUP
------------------------
→SCHEDULE NO    1
 ACTION         NOT USED
 HOLD TIME      ENDLESS
 POST ACTION    HOME
 CYCLE          ONCE
 TIME
  ●01/JAN/2013 TUE
  ●09:00:00 [hh:mm:ss]
 BACK
 EXIT
```

- Schedule No　[1～8]
  設定するスケジュールを選択します。
- Action　[NOT USED/PRESET/PATTERN/SWING /GROUP]
  設定された時刻に決められたアクションが実行されるよう設定します。
- Hold Time　[ENDLESS / 1～59秒 / 1～180分]
  アクションを実行する時間帯を設定します。この時間が経過した後、「ポストアクション」を実行する必要があります。POSTアクションがENDLESSに設定されている場合は、ポストアクションは行われません。
- Post Action　[HOME/PRESET/PATTERN/SWING/GROUP /PREV ACTION]
  ホールド時間後に実行される機能を設定します。「PREV.ACTION」が実行される際、直前に実行された機能が実行されます。
- Cycle　[ONCE/HOUR/DAY/WEEK/MONTH]
  繰り返し実行する時間帯を設定します。「ONCE」が実行される場合、1回だけ実行されます。
  時間は0時15分00秒・HOURに設定されている場合は、カメラは0時15分00秒で実行を開始し、1時15分、2時15分、3時15分と毎時15分に繰り返します。
- Time　スケジュール機能を実行する（hh：mm：ss）を日付（DD/ MM/ YYYY）および時刻を設定します。

パスワード設定

```
PASSWORD SETUP
------------------------
→CHECK PASSWORD      OFF
 <EDIT PASSWORD>



 BACK
 EXIT
```

● Password Setup　　[ON/OFF]
パスワード設定をします。

[注意] パスワード変更後は、必ず変更後のパスワードを控えてください。なお、パスワードを失念した場合、復旧には工場での初期化が必要になります。（有償）

❑ パスワード編集

```
EDIT PASSWORD
------------------------
  [■   ]
   ----------
   1234567890      OK
   ABCDEFGHIJ      CANCEL
   KLMNOPQRST
   UVWXYZabcd
   efghijklmn
   opqrstuvwx
   yz<>-/:. ←
   ----------
```

パスワードは英数字4桁です。

```
[■     ]
```

↑ Current Cursor Position

① ジョイスティックの左/右/上/下で、希望のアルファベットまたは英数字セット内の所望の数に移動します。アルファベットまたは数を選択するには、NEARキーを押してください。

```
----------
1234567890
ABCDEFGHIJ
KLMNOPQRST
UVWXYZabcd
efghijklmn
opqrstuvwx
yz<>-/:. ←
----------
```

Space Char.　Back Space Char.

空欄に設定する場合は、(“ “) を選択します。現在の文字を削除して左側に移動したい場合は、バックスペース(“←”)を選択します。

② パスワード設定を完了しましたら、”OK”の位置にカーソルを移動させて、NEARキーを押して保存します。”CANCEL”を選択すると保存をキャンセルします。

初期化

```
SYSTEM INITIALIZE
------------------------
→CLEAR ALL DATA      NO
 ●CLR DISPLAY SET    NO
 ●CLR CAMERA SET     NO
 ●CLR MOTION SET     NO
 ●CLR EDIT DATA      NO
 REBOOT CAMERA       NO
 REBOOT SYSTEM       NO

 BACK
 EXIT
```

- Clear All Data（全データ削除）　Display 設定値・カメラ設定値・モーション設定値・使用者編集データの全てを初期化します。
- Clear Display Set（表示セット消去）　ディスプレー設定値を初期化します。
- Clear Camera Set（カメラセット削除）　カメラ設定値を初期化します。
- Clear Motion Set（モーションセット削除）　モーション設定値を初期化します。
- Clear Edit Data（編集データ削除）　プリセット、スイング、パターン、グループデータを削除します。
- Reboot Camera（リブートカメラ）　ズームカメラを再起動します。
- Reboot System（リブートシステム）　本製品を再起動します。

❑初期設定値

● ディスプレー設定値		● モーション設定値	
Camera ID	ON	Motion Lock	OFF
PTZ Information	AUTO	Power Up Action	ON
Action Title	AUTO	Auto Flip	ON
Preset Label	AUTO	Jog Max Speed	120°/秒
Alarm I/O	AUTO	Jog Direction	INVERSE
Language	ENG	Freeze In Preset	OFF
North Direction	Pan 0°	Park Action	OFF
Privacy Zone	Undefined	Alarm Action	OFF
Display Date	ON	● 使用者設定データ	
Display Time	ON	Preset 1～255	Undefined
		Swing 1～10	Undefined
		Pattern 1～8	Undefined
		Group 1～8	Undefined
		Schedule 1～8	Not Used
		Password	OFF / Blank

● カメラ設定値			
Video Out	TVI(AHD) 1080p30/p25	AE Mode	AUTO
Focus Mode	SemiAuto	Auto DSS	ON
Digital Zoom	ON	Night > Day Level	14
Flickerless	OFF	Aperture	8
Image Flip	OFF	NR	3
White Balance	AUTO	Stabilization	OFF
Day&Night	AUTO	HLC	OFF
Backlight	OFF	Defog	OFF
WDR	OFF		

仕様

カメラ部分	
イメージセンサー	1/3インチPanasonic CMOSセンサー
総解像度	2.0メガピクセル
ズーム	光学10倍、デジタル20倍
S/N比	50dB以上
レンズ	F1.6～1.8, f=5.1～51mm
画角（水平）	54°(ワイド)～4.9°(テレ)
最低被写体照度	0.5 ルクス (カラー) / 0. 1 ルクス (白黒) @ DSS OFF 0.125 ルクス (カラー) / 0. 025 ルクス (白黒) @ DSS ON
デイナイト	Auto / Day / Night(ICR)
フォーカス	Auto / Manual / SemiAuto
AEモード	Auto / Iris / Shutter / Manual
ホワイトバランス	Auto / Indoor / Outdoor / Manual(赤・青ゲイン調整可能)
BLC	ON / OFF
WDR	ON / OFF
デフォグ機能	ON / OFF
絞り値	調整可能
ノイズリダクション	AUTO / OFF / 1～3レベル
スタビライザー	ON / OFF
プライバシーゾーン	8ヶ所（球面座標）

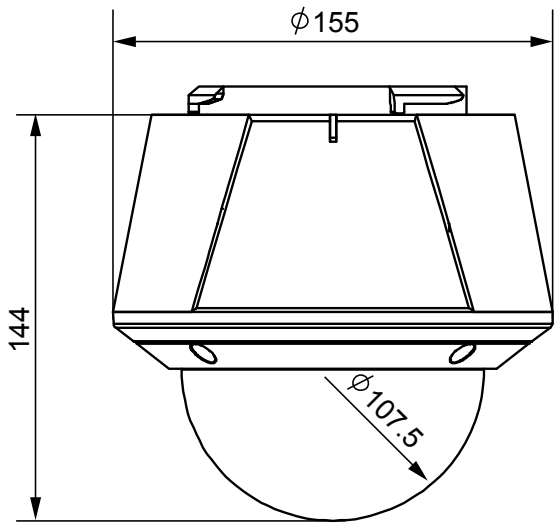
機構部		
移動範囲	パン	360°(エンドレス)
	チルト	90°
スピード	プリセット	360°/秒
	ジョグ	0.05～360°/秒
	スイング	1～180°/秒
プリセット		209ヶ所（ラベル、独立したカメラのパラメータ設定）
パターン		4ヶ所[768コマンド（約5分）/パターン]
スイング		10パターン
グループ		8グループ（プリセット、パターン、スイングの組み合わせで最大40アクション）
スケジュール		8スケジュール
その他パン/チルト機能		オートフリップ機能、オートパーキング機能、電源ON等
ビデオ	出力	BNC×2（TVI及びCVBS）
	TVI	HD-TVI（1080p30 / 720p60 / 720p30）
	CVBS	1Vp-p
リアルタイムクロック		○（RTCバッテリバックアップ時間：約2週間）
コミュニケーション		RS-485
プロトコル		Pelco-D, Pelco-P, Pelco-C選択可能
OSD		英語を含む4言語
センサー入力		入力×3, フォトカプラタイプ, DC 5V～12V
アラーム出力		出力×1, リレー出力, 最大DC24V 1AまたはAC125V 0.5A
ヒーター		内部温度が10℃になった場合にON
動作保証温度		-30°C ～ 50°C
電源		DC 12V / 1.8A

機構			
		天井取付	壁面取付
材質	ドーム	ポリカーボネート	
	内部	ポリカーボネート、ABS	
	外部	アルミニウム	
ドームサイズ		∅107. 5mm	
寸法		∅158.2×216 mm	274.5×227.3 mm
重量		約2.6 Kg	約2.8 Kg

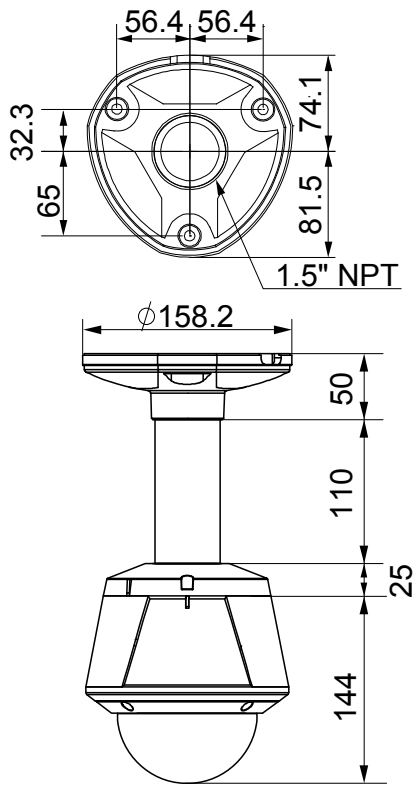
1）仕様および機能は予告なく変更することがあります。
2）電圧・定格電力の電流容量を確認してください。

寸法

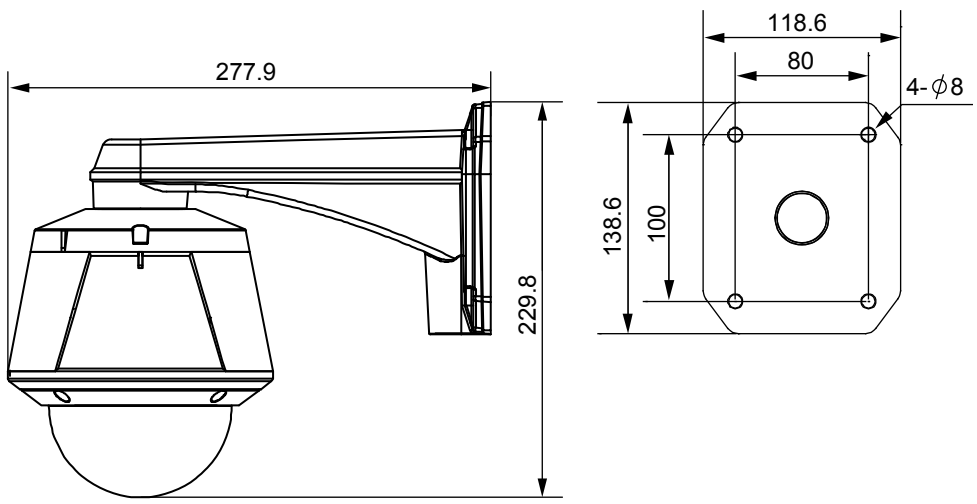
● 本体



● 天井取付



● 壁面取付



単位：mm